

2020年10月19日(月)

(P2010-A)

「コロナ禍における医療・介護現場の現状と栄養の必要性に関する実態調査」結果発表

75%の栄養士が業務に影響を受けている実態 「栄養指導減少」「食事に変化」「免疫低下は感染症の重篤化リスク」

ニュートリー株式会社(本社:三重県四日市市、代表取締役社長 川口晋、以下、ニュートリー)は、2020年8月、全国の病院・介護福祉施設の栄養士ら113人を対象に、「コロナ禍における医療・介護現場の現状と栄養の必要性に関する実態調査」を実施し、この度、結果を発表いたしました。病院や介護福祉施設が新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、栄養士の業務の実態を把握し、栄養士をはじめ、栄養療法に関わる医療従事者及び患者へ役立つ支援を明らかにすることを目的としています。

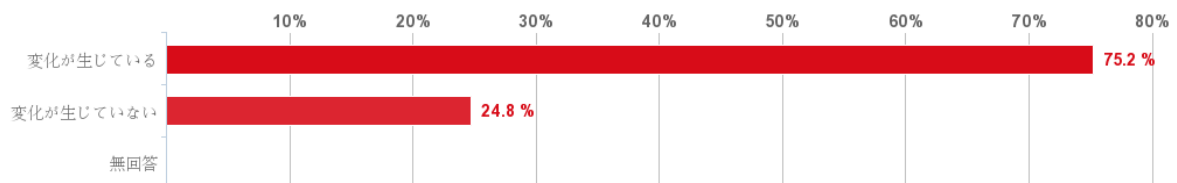
調査結果サマリー

- ◆コロナ禍で栄養士の75%は業務に影響を受けている
業務変化は「消毒作業の増加」「勉強会の中止」「栄養指導の減少」「(患者への)食事に変化」など
- ◆コロナ禍で「勉強会の中止」により、栄養士らの情報収集機会が減少し、また「栄養指導の減少」で、患者らも病態に合った栄養ケア情報の取得機会が減少していると推察される
- ◆93%の栄養士は「免疫低下は感染症の重篤化リスク」とし、「良好な栄養状態を重要視」している
- ◆注目の栄養素トップ5が明らかに①ビタミン、たんぱく質②ミネラル③エネルギー④水分⑤乳酸菌
- ◆栄養摂取が「重症化リスクの軽減」及び「免疫向上・早期回復」に有効とする栄養士の声

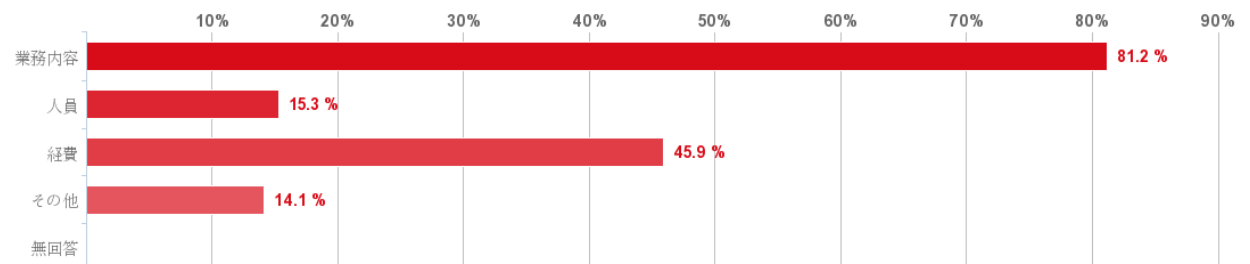
◆感染拡大が栄養士業務に影響。食事内容・調理方法・提供方法などが変化

コロナ禍により栄養士の75%は業務に影響を受けており(図1、2、3)、その変化が患者・利用者にも及び(図4)、変化に関する感想・意見を耳にしている(自由記述)。

【図1】新型コロナウイルス流行前後で、業務上、変化が生じていますか(有効回答数 113)



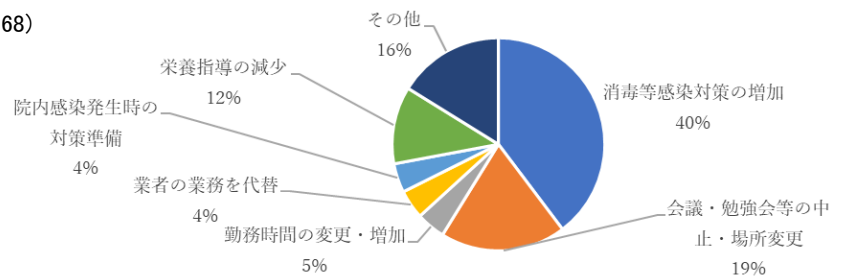
【図2】どんな変化が生まれましたか?(有効回答数 113)



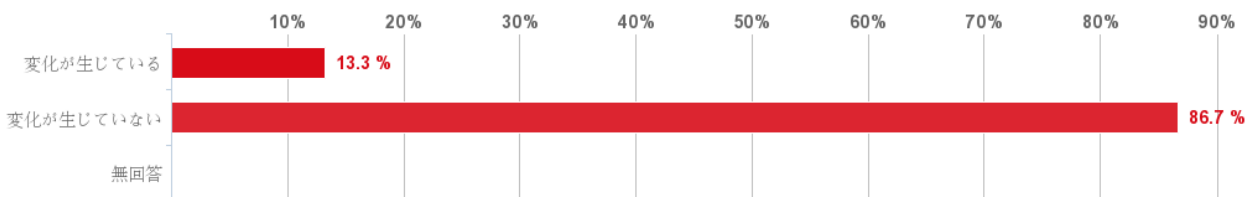
NÜTRI: ニュートリーからのお知らせ

【図3】業務内容の具体的な変化(有効回答数 68)

- ① 消毒作業の増加(40%)
- ② 会議・勉強会の中止(19%)
- ③ 栄養指導の減少(12%)などが挙げられた。



【図4】患者、利用者に提供している食事の内容・調理方法・提供方法等に変化が生じているか(回答数: 113)



【自由記述】◆食事内容・調理方法・提供方法の変化について

- ・冷凍食品を使う頻度が増えた。
- ・手作り感が無くなってしまった。献立内容が単調になっている。
- ・ホットプレートなどを使用するメニューは中止し、厨房で全て加熱調理し配膳している。
- ・使い捨て食器になると見た目が落ちる、などと感じている。

栄養士の耳に届いた患者の声の中には、

「ホールでのイベント食が中止になり楽しみがなくなった」

「家族の面会が制限され差し入れが減少している」などがあり、

通常ご家族からの差し入れがある方からは嗜好品の要求が増えている。

◆栄養士の93%は「免疫低下は重篤化リスク」とし、97%が「免疫力向上に良好な栄養状態」を重要視

〈1〉新型コロナ感染症の長期化に伴い、栄養学的なアプローチの充実が、患者・利用者の感染予防・対策に有効と回答した栄養士は43%に上り、その理由を尋ねると、以下の3点に分類された。

- ① 重症化予防(31%)
- ② 体力・免疫力向上(29%)
- ③ 回復力の向上(6%)

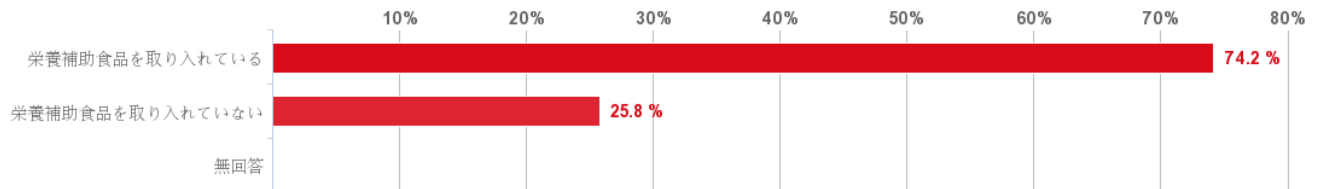
〈2〉栄養士の93%が、免疫低下は新型コロナウイルス感染症による入院・死亡等の重篤化リスクになると回答、97%が免疫力を高めるために栄養状態を良好に保つことが必要であると、摂取が必要な栄養素として、以下がトップ5として挙げられた。

- ① ビタミン(92%)、たんぱく質(92%)
- ② ミネラル(74.3%)
- ③ エネルギー(72.6%)
- ④ 水分(50.4%)
- ⑤ 乳酸菌(41.6%)

NÜTRI: ニュートリーからのお知らせ

〈3〉栄養学的アプローチを実践している施設は27%あり、うち74%が栄養補助食品を導入していた(図5)。

【図5】免疫力を高めるための栄養学的なアプローチの実践として、栄養補助食品を取り入れているか(有効回答数 31)



◆栄養摂取が“感染症の重症化リスクの軽減”及び“免疫向上・早期回復”に有効とする栄養士のコメント

〈1〉「良好な栄養状態は重症化リスクの軽減につながる」とするコメント

「コロナのみならず栄養状態の悪化は免疫力の低下、感染による重症化につながる。栄養状態を良好に保ち免疫力を維持することが必要」、「高齢者の施設なので、感染する前の状態が良い状態であれば、感染後のリスクが低くなると思う」と考えていながらも、現状では、「機能的に食形態が段階的に落ちていき一度に取れる栄養が少なくなって免疫力が落ちてきている方が多い。コロナの影響でその他の要素からも機能低下を起している。食欲不振や社会との交流としての食事場面も減っている。栄養がしっかり取れることで、その他の機能(身体活動や認知機能)にもよい影響を与える」との課題を感じている。

〈2〉「良好な栄養状態は回復力の向上に効果がある」とするコメント

「良好な栄養状態の方が病態の回復が早い」、「罹患した場合に回復できるか否かは感染前、罹患中の栄養状態によるところが大きい」、「ワクチンや特効薬がまだない今の状況では、栄養アプローチにより免疫力や抵抗力、自然治癒力を高めるしかない。かからないように、かかってもできるだけ軽症で済むようにするには、毎日の食事(栄養)と十分な睡眠がとても重要」。

調査概要

- ・調査内容: コロナ禍における医療・介護現場の現状と栄養の必要性に関する実態調査
- ・調査目的: 新型コロナウイルス感染症による医療現場・介護福祉施設で働く栄養士及び患者・利用者への影響と感染症への備えとしての栄養の必要性に関する実態把握
- ・調査期間: 7月27日(月)～8月7日(金)
- ・調査対象: 全国の病院・介護福祉施設 管理栄養士・栄養士(84%)、看護師(6%)、調理師(3%)、他
- ・調査・回収方法: インターネット
- ・回答総数: 113件
- ・調査主体: ニュートリー株式会社

NÜTRI: ニュートリーからのお知らせ

◆感染症を重症化させないために、栄養摂取により免疫力を高める方法に注目

基礎疾患を持つ方や高齢者にとっては、新型コロナウイルスなどの感染症を重症化させないことが極めて重要です。手洗い・消毒、マスクの着用、ディスタンスの確保、換気などの予防とともに、栄養ケアによる免疫力を高める対策も注目が集まっています。今回の調査で、栄養士の93%が「免疫低下は新型コロナウイルス感染症による入院・死亡等の重篤化リスクになる」と回答し、97%が「免疫力を高めるために栄養状態を良好に保つことが必要」と回答したことから、栄養ケアが免疫力を高める上で重要であるという認識の高さが読み取れます。

◆患者らへの「栄養指導の減少」を解決するため、調査結果、栄養指導ツール、関連製品の無償提供

感染拡大防止対策の観点から、医療現場では患者と対面して行う「栄養指導」の自粛を余儀なくされ、患者らが栄養情報を取得する機会が減少していることが調査結果から推察されます。また感染への不安から外来受診を控えるなど、患者らの受療行動の変化により、訪問看護患者数が増加傾向※といわれており、家にこもる患者らへの栄養ケア情報の提供に課題がある状況です。

ニュートリーでは、2020年10月、在宅医療の担い手である訪問看護ステーション約10,500施設に対し、患者・家族が負担のない栄養摂取に取り組めるよう、調査結果、栄養指導ツール、関連製品を無償提供します。今後も、調査結果から得られた課題を踏まえ、ニュートリーでは、栄養・嚥下補助食品の開発・製造・販売を通して、栄養士をはじめとする栄養療法に関わる医療従事者及び患者に対して、患者の良好な栄養状態の確保に繋がる製品及び情報提供を継続して取り組んでまいります。

※社会保険診療報酬支払基金 統計月報(令和2年7月診療分) 第2表 管掌別診療報酬等確定状況 訪問看護療養費より

【無償提供の内容】



【調査結果報告】
ニュートリション・ジャーナル Vol.7



【栄養指導ツール】
感染症にかかったら大変!!



【関連製品】
ビタミン・ミネラル・乳酸菌配合飲料
「ブイ・クレス BIO」

ニュートリー株式会社について <https://www.nutri.co.jp>

通常の食事から十分に栄養素を摂取できない方のために、栄養補助食品・嚥下補助食品・流動食を開発・製造・販売しています。ビタミン・ミネラル補助飲料に、乳酸菌 E.フェカリスを6,000億個配合した「ブイ・クレス BIO」等を代表製品として、エビデンスに基づく製品を開発し、全国の病院や介護福祉施設、在宅看護・介護現場に向けて製品を提案しています。

本件に関するお問い合わせ先

ニュートリー株式会社 広報:横山・藤本
電話:03-3206-0107 メール:press@nutri.co.jp
東京支店:〒104-0033 東京都中央区新川 2-1-5 THE WALL 4階